

平成31年度 京都市立桃山南小学校学校経営方針

京都市教育委員会 学校教育の重点より

目指す子ども像 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

重視する視点 子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。カリキュラム・マネジメントの視点のもと、PDCAを意識し、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に日々の教育活動の質の向上を図り、子どもの姿や地域の状況に応じた創意あふれる取組を展開する。

桃山南小学校 学校教育目標

夢を描いて 未来を創る子

～やさしく かしこく たくましく～



目指す子どもの姿

～いきいき・にこにこ～

何事にも前向きに取り組む子

○正しく判断し行動する子

自他を大切にし、思いやりの

心をもって共に生きる子

元気いっぱい明るい子

目指す学校像

～信頼～

- ・子どもの命と安全（体と心）を守りきる学校
- ・充実感や満足感にあふれる学校
- ・子どもの成長が見える学校
- ・地域に開かれた学校

目指す教職員像

～凡事徹底～

- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・子どものよき手本となる教職員
- ・教育者としての自覚のもと、互いに高め合う教職員
- ・誰（子ども、保護者、地域、教職員）からも信頼される教職員



今年度の重点的取組

- ・自己指導能力の育成（自己存在感・自己肯定感・自己有用感）
- ・学力の向上（授業改善、家庭での自学自習の習慣化）
- ・健康教育の充実
- ・働き方改革の推進

知・徳・体の調和のとれた育成

確かな学力の育成

学びの質の向上

日々の授業と家庭学習との連動を通した家庭での自学自習の習慣化

- ・社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- ・基礎的基本的な知識・技能の習得
- ・言語活動の充実
- ・探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
- ・グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上

豊かな心の育成

自他を大切にする態度の育成

公共の精神、礼儀・礼節の尊重

- ・道徳教育の充実
- ・伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ・規範意識の育成
- ・多様性を理解する姿勢の涵養
- ・支えあい高め合う集団づくりの推進と絆づくり

健やかな体の育成

健康教育の充実

外遊びや運動の生活化

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上
- ・保健教育の充実
- ・飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ・安全教育の充実
- ・食に関する指導の推進